

財務諸表論 I

科目ナンバリング ACC-203
選択必修 2単位

坂内 慧

1. 授業の概要(ねらい)

財務諸表論では、企業活動の要約情報である財務諸表を中心とした会計情報を、株主、債権者、規制当局などの外部利害関係者に伝達するためのシステムを学びます。本講義の目的は、財務諸表論に関する基本的な知識を獲得し、様々な計算や財務諸表の作成ができるようになることです。

2. 授業の到達目標

本講義では到達目標を以下のように設定します。

- ①財務諸表論の理論的な理解：財務諸表論の基本的理論を理解し説明できるようになる。
- ②財務諸表論の実践的・技術的な理解：個別論点の計算、および財務諸表の作成ができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

本講義の到達目標は、財務諸表論の①理論、②実践・技術を理解することです。到達目標に達成するためには、日々の学習の積み重ねが肝要です。したがって、成績は以下の基準を目安に総合的に評価します。

- 定期試験：70%
- 平常点(小テスト等)：30%

4. 教科書・参考文献

教科書

岩崎健久・平石智紀 『レクチャー財務諸表論』(第2版) 中央経済社

5. 準備学修の内容

予習：LMSにアップロードされる講義資料と指定テキストの読み込み

復習：講義資料と指定テキストの読み込みとLMSにアップロードされる小テストの受験

6. その他履修上の注意事項

講義には、テキスト、電卓、ノート、筆記用具を持参してください。可能な限り、毎回の講義には休まず出席して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス
：講義内容について説明します。
- 【第2回】 会計の種類と財務諸表
：会計の分類と3つの財務諸表について学びます。
- 【第3回】 複式簿記の構造
：複式簿記の流れについて学びます。
- 【第4回】 財務会計の機能と法制度
：財務会計における機能と企業会計をとりまく法制度について学びます。
- 【第5回】 会計公準
：3つの会計公準について学びます。
- 【第6回】 企業会計原則 一般原則等①
：真実性の原則、正規の簿記の原則、資本取引・損益取引区分の原則について学びます。
- 【第7回】 企業会計原則 一般原則等②
：明瞭性の原則、継続性の原則、保守主義の原則、単一性の原則、そして重要性の原則について学びます。
- 【第8回】 損益計算の概要
：損益計算の方法、基本原則などについて学びます。
- 【第9回】 売上収益の認識と測定
：実現主義などについて学びます。
- 【第10回】 費用の認識と測定
：発生主義などについて学びます。
- 【第11回】 費用と収益の対応
：費用と収益の対応について学びます。
- 【第12回】 営業外損益
：営業外損益計算について学びます。
- 【第13回】 特別損益
：特別損益計算について学びます。
- 【第14回】 問題演習(オンライン)
：第13回までの復習をします。
- 【第15回】 講義のまとめ